

# Hitachi Virtual Storage Platform G100/ G200/G400/G600/G800

## Virtual Partition Manager ユーザガイド

Storage Navigator を使ってストレージシステムを操作する場合は、必ずこのマニュアルを読み、操作手順、および指示事項をよく理解してから操作してください。また、このマニュアルをいつでも利用できるよう、Storage Navigator を使用するコンピュータの近くに保管してください。

## 著作権

All Rights Reserved, Copyright (C) 2015, Hitachi, Ltd.

## 免責事項

このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製することはできません。

このマニュアルの内容については、将来予告なしに変更することがあります。

このマニュアルに基づいてソフトウェアを操作した結果、たとえ当該ソフトウェアがインストールされているお客様所有のコンピュータに何らかの障害が発生しても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

このマニュアルの当該ソフトウェアご購入後のサポートサービスに関する詳細は、弊社営業担当にお問い合わせください。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

## 商標類

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

## 発行

2015年6月（第2版）

# 目次

はじめに.....	5
対象ストレージシステム.....	6
マニュアルの参照と適合ファームウェアバージョン.....	6
対象読者.....	6
マニュアルで使用する記号について.....	6
マニュアルに掲載されている画面図について.....	7
変更履歴.....	7
<b>1. Virtual Partition Manager の概要.....</b>	<b>9</b>
1.1 キャッシュ分割機能.....	10
<b>2. Virtual Partition Manager の操作の準備.....</b>	<b>11</b>
2.1 CLPR 作成時のキャッシュ容量基準.....	12
2.1.1 適用するソフトウェアがない、基本的な構成の場合の推奨キャッシュ容量.....	12
2.1.2 Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、または active flash を適用する場合の推奨キャッシュ容量.....	12
2.1.3 Universal Volume Manager だけを適用する場合の推奨キャッシュ容量.....	13
2.2 Virtual Partition Manager 操作上の注意事項.....	14
2.3 ストレージシステムに予約されている CLPR 名.....	14
<b>3. Virtual Partition Manager の操作.....</b>	<b>15</b>
3.1 Virtual Partition Manager 操作の流れ.....	16
3.2 CLPR を作成する.....	16
3.3 CLPR 内のリソースを移動する.....	17
3.4 CLPR の設定を編集する.....	18
3.5 CLPR を削除する.....	19
<b>4. Virtual Partition Manager のトラブルシューティング.....</b>	<b>21</b>
4.1 Virtual Partition Manager のエラーと対策.....	22
4.2 お問い合わせ先.....	22
<b>付録 A Virtual Partition Manager GUI リファレンス.....</b>	<b>23</b>
A.1 [キャッシュパーティション] 画面.....	24
A.2 個別の CLPR 画面.....	25
A.3 CLPR 作成ウィザード.....	27
A.3.1 [CLPR 作成] 画面.....	28

A.3.2 [設定確認] 画面.....	29
A.4 CLPR リソース移動ウィザード.....	30
A.4.1 [CLPR リソース移動] 画面.....	30
A.4.2 [設定確認] 画面.....	32
A.5 CLPR 編集ウィザード.....	33
A.5.1 [CLPR 編集] 画面.....	33
A.5.2 [設定確認] 画面.....	34
A.6 [設定変更] 画面.....	35
A.7 [CLPR プロパティ] 画面.....	36
A.8 [CLPR 削除] 画面.....	37
付録 B このマニュアルの参考情報.....	39
B.1 操作対象リソースについて.....	40
B.2 このマニュアルでの表記.....	40
B.3 このマニュアルで使用している略語.....	40
B.4 KB（キロバイト）などの単位表記について.....	41
B.5 Encryption License Key を使用したデータ暗号化について.....	41
用語解説.....	43
索引.....	47



# はじめに

このマニュアルは、Hitachi Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800 (以下、VSP G100, G200, G400, G600, G800 と略します)用の『*Virtual Partition Manager ユーザガイド*』です。このマニュアルでは、Virtual Partition Manager の概要と操作について説明しています。

- [対象ストレージシステム](#)
- [マニュアルの参照と適合ファームウェアバージョン](#)
- [対象読者](#)
- [マニュアルで使用する記号について](#)
- [マニュアルに掲載されている画面図について](#)
- [変更履歴](#)

# 対象ストレージシステム

このマニュアルでは、次に示す VSP G100, G200, G400, G600, G800 のストレージシステムに対応する製品（プログラムプロダクト）を対象として記述しています。

- ・ Virtual Storage Platform G100  
HT-40SD-CBSS0/CBSL0
- ・ Virtual Storage Platform G200  
HT-40SC-CBSS1/CBSL1
- ・ Virtual Storage Platform G400  
HT-40SC-CBLM2
- ・ Virtual Storage Platform G600  
HT-40SC-CBLM3
- ・ Virtual Storage Platform G800  
HT-40SB-CBLH

このマニュアルでは特に断りのない限り、VSP G100, G200, G400, G600, G800 のストレージシステムを単に「ストレージシステム」と称することがあります。

## マニュアルの参照と適合ファームウェアバージョン

マニュアルを参照されるときは、ご使用の「DKCMAIN」ファームウェアと同じ梱包内のマニュアル用のメディアに添付されているマニュアルを使用してください。このマニュアルは、DKCMAIN ファームウェアのバージョン「83-01-2X-XX/XX」以降（XX は規定外）に適合しています。

## 対象読者

このマニュアルは、次の方を対象読者として記述しています。

- ・ ストレージシステムを運用管理する方
- ・ UNIX® コンピュータまたは Windows® コンピュータを使い慣れている方
- ・ Web ブラウザを使い慣れている方

使用する OS および Web ブラウザの種類については、『*Hitachi Device Manager - Storage Navigator ユーザガイド*』を参照してください。

## マニュアルで使用する記号について

このマニュアルでは、注意書きや補足情報を、次のとおり記載しています。



**注意** データの消失・破壊のおそれや、データの整合性がなくなるおそれがある場合などの注意を示します。



**メモ** 解説、補足説明、付加情報などを示します。

---



ヒント より効率的にストレージシステムを利用するのに役立つ情報を示します。

## マニュアルに掲載されている画面図について

このマニュアルに掲載されている画面図の色は、ご利用のディスプレイ上に表示される画面の色と異なる場合があります。

このマニュアルでは、Windows コンピュータ上の Internet Explorer での画面を掲載しています。UNIX コンピュータ上でご利用の Storage Navigator の画面は、マニュアルに掲載されている画面の表示と異なる場合があります。Storage Navigator の画面や基本操作に関する注意事項については、『Hitachi Device Manager - Storage Navigator ユーザガイド』を参照してください。

## 変更履歴

版番号	発行年月	変更内容
初版	2015年3月	新規（適合 DKCMAIN ファームウェアバージョン：「83-01-0X-XX/XX」以降）
第2版	2015年6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ active flash をサポートした（<a href="#">2.1.1</a>、<a href="#">2.1.2</a> を参照）</li><li>・ データ暗号化に関する注意書きを追加した（<a href="#">B.5</a> を参照）</li></ul> 初版を改訂（適合 DKCMAIN ファームウェアバージョン：「83-01-2X-XX/XX」以降）





# Virtual Partition Manager の概要

Hitachi Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800 (VSP G100, G200, G400, G600, G800) のストレージシステムは、多数のホストに接続でき、企業内の複数の部署によって、さらには複数の企業によって共有できます。しかし、このような環境下では、特定のホストから大量の I/O 要求を発行した場合、他のホストの I/O パフォーマンスが低下するおそれがあります。Virtual Partition Manager 機能を使用すると、このような危険を防止できます。

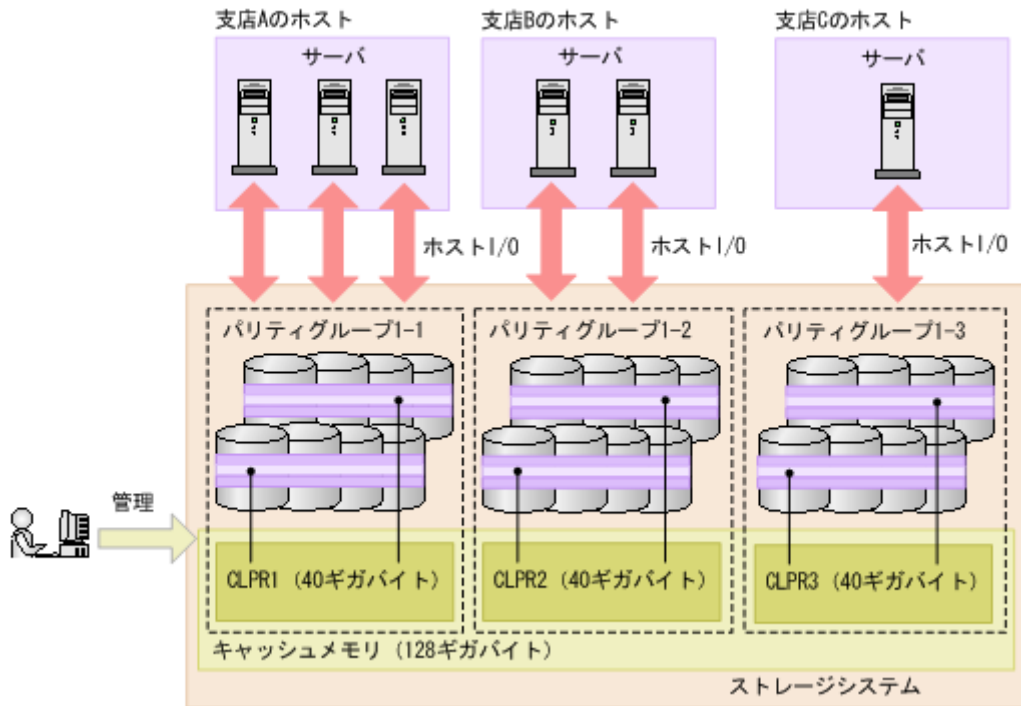
## □ 1.1 キャッシュ分割機能

## 1.1 キャッシュ分割機能

多数のホストが1台のストレージシステムを共有している場合、特定のホストが大量のデータを読み書きすると、そのホストの読み書きデータがキャッシュメモリの多くの領域を占有してしまうことがあります。このような状況のもとでは、他のホストはキャッシュへの書き込みを待たなければならぬため、データの書き込み速度が低下するおそれがあります。

Virtual Partition Manager のキャッシュ分割機能は、ストレージシステムに内蔵されているキャッシュメモリを複数の仮想キャッシュメモリに分割して、利用できるキャッシュ容量をあらかじめホストに割り当てておくため、特定のホストがキャッシュメモリの多くの領域を占有してしまうような状況を避けることができます。次の図の企業内ネットワークの例では、キャッシュメモリを3つの仮想キャッシュに分割し、それぞれを3つの支店に割り当てています。支店Aのホストはストレージシステムに対して、大量のアクセスをしています。利用可能なキャッシュ容量が40ギガバイトに制限されているため、支店Aのホストの読み書きデータがキャッシュ全体を占有することはありません。支店Aのホストがどれだけ大量のデータにアクセスしても、他の支店のホストは常に40ギガバイトのキャッシュ領域を利用できるため、支店Aのデータアクセス量の影響を受けて他の支店のデータ転送速度が遅くなることはありません。

キャッシュ分割機能を使って分割された仮想キャッシュメモリをCLPRと呼び、1台のストレージシステムにはデフォルトで提供されるCLPR0を含めて32個までCLPRを作成できます。CLPRの作成方法については、関連項目を参照してください。



CLPRを作成するときには、パリティグループをCLPRに割り当てる必要があります。パリティグループの割り当て方法については、関連項目を参照してください。

### 関連項目

- ・ [3.2 CLPRを作成する](#)
- ・ [3.3 CLPR内のリソースを移動する](#)

## Virtual Partition Manager の操作の準備

ここでは、CLPR を作成するための準備と Virtual Partition Manager を操作する上での注意事項について説明します。

- [2.1 CLPR 作成時のキャッシュ容量基準](#)
- [2.2 Virtual Partition Manager 操作上の注意事項](#)
- [2.3 ストレージシステムに予約されている CLPR 名](#)

## 2.1 CLPR 作成時のキャッシュ容量基準

CLPR を作成する場合、推奨するキャッシュ容量は、MP ユニットの搭載数、RAID レベル、ストレージシステムに搭載するドライブ数、および適用するソフトウェアなどの条件によって決定されます。

### 2.1.1 適用するソフトウェアがない、基本的な構成の場合の推奨キャッシュ容量

Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、および active flash を適用しない場合に推奨する、最低限必要な CLPR 単位の推奨キャッシュ容量を次の表に示します。

CLPR 単位の内部ボリュームおよび外部ボリューム※1 の合計容量	CLPR 単位の推奨キャッシュ容量
4TB 未満	12GB
4TB 以上	16GB
16TB 以上	24GB
48TB 以上	32GB
96TB 以上	40GB
160TB 以上	48GB※2
240TB 以上	56GB※2
360TB 以上	64GB※2
600TB 以上	72GB※2

#### 注※1

CLPR 単位の内部ボリュームおよび外部ボリュームの容量の合計を算出する場合、それぞれのボリューム容量は、次のとおりとして算出してください。

- 内部ボリューム：RAID1 の場合は、パリティグループ容量の合計の 1/2 を加算してください。RAID5 または RAID6 の場合は、パリティグループ容量の合計から、パリティディスクの容量を減算したものを加算してください。
- 外部ボリューム：パリティグループ容量の合計を加算してください。

#### 注※2

Virtual Storage Platform G100 および Virtual Storage Platform G200 は 40GB です。

### 2.1.2 Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、または active flash を適用する場合の推奨キャッシュ容量

Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、または active flash を適用する場合に推奨する、CLPR 単位のキャッシュ容量を次の表に示します。

CLPR 単位の内部ボリューム、外部ボリュームおよび仮想ボリューム※1 の合計容量	CLPR 単位の推奨キャッシュ容量
4TB 未満	20GB
4TB 以上	20GB
16TB 以上	24GB
48TB 以上	32GB
96TB 以上	40GB

CLPR 単位の内部ボリューム、外部ボリュームおよび仮想ボリューム ※1 の合計容量	CLPR 単位の推奨キャッシュ容量
160TB 以上	48GB※2
240TB 以上	56GB※2
360TB 以上	64GB※2
600TB 以上	72GB※2

#### 注※1

CLPR 単位の内部ボリューム、外部ボリュームおよび仮想ボリュームの容量の合計を算出する場合、それぞれのボリューム容量は、次のとおりとして算出してください。

- 内部ボリューム：RAID1 の場合は、パリティグループ容量の合計の 1/2 を加算してください。RAID5 または RAID6 の場合は、パリティグループ容量の合計から、パリティディスクの容量を減算したものを加算してください。
- 外部ボリューム：パリティグループ容量の合計を加算してください。
- 仮想ボリューム：LDEV 容量の合計を加算してください。仮想ボリュームの LDEV 容量は、[論理デバイス] 画面で確認してください。[論理デバイス] 画面については、『システム構築ガイド』を参照してください。

#### 注※2

Virtual Storage Platform G100 および Virtual Storage Platform G200 は 40GB です。

## 2.1.3 Universal Volume Manager だけを適用する場合の推奨キャッシュ容量

作成する CLPR の構成が下記の条件を満たす場合は、以下の表に示す推奨キャッシュ容量を適用できます。

- 外部ボリュームだけを使用した CLPR である。
- データの転送速度は重視しない。
- マッピングされたボリュームのキャッシュモードが Disable である。
- オープンシステム用のボリュームだけを使用した CLPR である。

Universal Volume Manager だけを適用する CLPR の外部ボリューム合計容量	MP ユニット数	CLPR 単位の推奨キャッシュ容量
128TB 未満	4	4GB
128TB 以上	4	8GB

なお、ストレージシステムにキャッシュメモリを増設する場合は、標準モデルまたは高性能モデルのどちらかの実装方式で増設されます。ストレージシステムに増設部キャッシュボードがある場合、キャッシュメモリが高性能モデルで増設されている必要があります。キャッシュメモリの増設の詳細については、問い合わせ先にご連絡ください。

#### 関連項目

- [4.2 お問い合わせ先](#)

## 2.2 Virtual Partition Manager 操作上の注意事項

- ・ CLPR の定義を追加または変更すると、数時間またはそれ以上時間がかかるのでご注意ください。
- ・ CLPR を利用する場合、以下の操作は実行しないでください。
  - 複数の CLPR にわたる ShadowImage の Quick Restore
  - 複数の CLPR にわたる Volume Migration の移動
- ・ Universal Replicator のデータボリュームとジャーナルボリュームは、それぞれ異なる CLPR に属するボリュームを定義できます。同じジャーナルのジャーナルボリュームはすべて同じ CLPR に定義されている必要があります。
- ・ CLPR 名にはデフォルトで CLPR ID が設定されています。設定されている CLPR 名は、それぞれの CLPR ID で予約されているため、他の CLPR ID には変更できません。例えば、CLPR ID が 1 の場合、CLPR 名を「CLPR2」に設定することはできません。
- ・ CLPR を作成または削除する場合、または作成済みの CLPR の容量を変更する場合は、操作の対象となる CLPR および CLPR0 の書き込み待ち率がすべての MP ユニットで次の式を満たしていることを確認してください。
  - CLPR のキャッシュ容量が減る場合  
$$[\text{書き込み待ち率}] \times [\text{操作前のキャッシュ容量}] \div [\text{操作後のキャッシュ容量}] < 30\%$$
操作の対象となる CLPR および CLPR0 に割り当てられている MP ユニットのうち、どれか 1 つでも書き込み待ち率が 50% 以上の状態にある場合は、CLPR の設定変更の処理は保留されます。
- ・ CLPR 内のリソースを移動する場合、移動元および移動先のそれぞれの CLPR のすべての MP ユニットで、書き込み待ち率が 50% 未満であることを確認してください。すべての MP ユニットで書き込み待ち率が 50% 未満の状態になるまで、CLPR の設定変更の処理は保留されます。

## 2.3 ストレージシステムに予約されている CLPR 名

CLPR ID	CLPR 名	CLPR ID	CLPR 名	CLPR ID	CLPR 名	CLPR ID	CLPR 名
0	CLPR0	8	CLPR8	16	CLPR16	24	CLPR24
1	CLPR1	9	CLPR9	17	CLPR17	25	CLPR25
2	CLPR2	10	CLPR10	18	CLPR18	26	CLPR26
3	CLPR3	11	CLPR11	19	CLPR19	27	CLPR27
4	CLPR4	12	CLPR12	20	CLPR20	28	CLPR28
5	CLPR5	13	CLPR13	21	CLPR21	29	CLPR29
6	CLPR6	14	CLPR14	22	CLPR22	30	CLPR30
7	CLPR7	15	CLPR15	23	CLPR23	31	CLPR31

## Virtual Partition Manager の操作

Virtual Partition Manager は Storage Navigator または RAID Manager から操作できます。RAID Manager を使った操作方法については『*RAID Manager ユーザガイド*』を参照してください。

- [3.1 Virtual Partition Manager 操作の流れ](#)
- [3.2 CLPR を作成する](#)
- [3.3 CLPR 内のリソースを移動する](#)
- [3.4 CLPR の設定を編集する](#)
- [3.5 CLPR を削除する](#)

## 3.1 Virtual Partition Manager 操作の流れ

キャッシュを論理的に分割する場合の操作の流れを次に示します。

1. CLPR を作成する。
2. CLPR にリソースを割り当てる。

次の設定は、CLPR の作成後に変更できます。

- ・ CLPR 名
- ・ CLPR のキャッシュ容量

不要になった CLPR は削除できます。CLPR を削除する場合の操作の流れを次に示します。

1. CLPR に割り当てたリソースを移動する。
2. CLPR を削除する。

## 3.2 CLPR を作成する

CLPR を 1 つも作成していない状態では、キャッシュ全体は CLPR0 で表示されます。CLPR を作成すると CLPR1 が追加され、これ以降は、Virtual Storage Platform G100 または Virtual Storage Platform G200 では CLPR9 まで、Virtual Storage Platform G400 では CLPR22 まで、Virtual Storage Platform G600 または Virtual Storage Platform G800 では CLPR31 まで CLPR を作成できます。

CLPR を作成する場合、キャッシュ容量の初期値は 4 ギガバイトです。CLPR は CLPR0 (キャッシュ全体) から必要な容量を割り当てて作成します。

### 前提条件

- ・ 必要なロール：ストレージ管理者 (システムリソース管理) ロール

### 操作手順

1. 次のどちらかの方法で、[キャッシュパーティション] 画面を表示します。  
Hitachi Command Suite を使用する場合：
  - [リソース] タブで [ストレージシステム] ツリーを展開します。ローカルストレージシステムの配下の [キャッシュパーティション] を選択します。Storage Navigator を使用する場合：
  - [管理] ツリーから [キャッシュパーティション] を選択します。
2. 次のどれかの方法で、[CLPR 作成] 画面を表示します。
  - [よく使うタスク] から [CLPR 作成] を選択します。
  - [キャッシュパーティション] タブで [CLPR 作成] をクリックします。
  - [設定] メニューから [リソース管理] - [CLPR 作成] を選択します。
3. [CLPR 名] で、CLPR 名を入力します。
4. [キャッシュサイズ] で、CLPR のキャッシュ容量を選択します。
5. [追加] をクリックします。



作成した CLPR が、[選択した CLPR] テーブルに追加されます。CLPR を [選択した CLPR] テーブルから削除したい場合は、その CLPR のチェックボックスを選択して [削除] をクリックします。CLPR のチェックボックスを選択して [設定変更] をクリックすると、[設定変更] 画面が表示され、その CLPR の設定を変更できます。

6. [完了] をクリックします。
7. [設定確認] 画面で設定内容を確認し、[タスク名] にタスク名を入力します。
8. [適用] をクリックして設定をストレージシステムに適用します。設定した内容はタスクとしてキューイングされ、順に実行されます。



**ヒント** ウィザードを閉じたあとに [タスク] 画面を自動的に表示するには、ウィザードで [「適用」をクリックした後にタスク画面を表示] を選択して、[適用] をクリックします。

9. [タスク] 画面で、操作結果を確認します。実行前であれば、[タスク] 画面でタスクを一時中断したり キャンセルしたりできます。

この時点では、まだ CLPR にリソースが割り当てられていません。CLPR にリソースを割り当てるには、他の CLPR (通常は CLPRO) からリソースを移動する必要があります。リソースの移動方法、作成済みの CLPR の設定の変更は、関連項目を参照してください。

#### 関連項目

- ・ [A.3 CLPR 作成ウィザード](#)
- ・ [A.6 \[設定変更\] 画面](#)
- ・ [2.2 Virtual Partition Manager 操作上の注意事項](#)
- ・ [3.3 CLPR 内のリソースを移動する](#)
- ・ [3.4 CLPR の設定を編集する](#)

## 3.3 CLPR 内のリソースを移動する

CLPRO から作成した CLPR にリソースを移動します。ただし、分散パリティグループを構成している複数のパリティグループは、同一 CLPR に所属させる必要があります。

#### 前提条件

- ・ 必要なロール：ストレージ管理者 (システムリソース管理) ロール

#### 操作手順

1. 次のどちらかの方法で、[キャッシュパーティション] 画面を表示します。  
Hitachi Command Suite を使用する場合：
  - [リソース] タブで [ストレージシステム] ツリーを展開します。ローカルストレージシステムの配下の [キャッシュパーティション] を選択します。Storage Navigator を使用する場合：
  - [管理] ツリーから [キャッシュパーティション] を選択します。
2. 次のどれかの方法で、[CLPR リソース移動] 画面を表示します。
  - [キャッシュパーティション] タブで [CLPR リソース移動] をクリックします。
  - [キャッシュパーティション] タブで CLPR 名のリンクをクリックします。[パリティグループ] タブまたは [仮想ボリューム] タブで [CLPR リソース移動] をクリックします。

- [設定] メニューから [リソース管理] - [CLPR リソース管理] を選択します。
  - [キャッシュパーティション] タブで CLPR 名のリンクをクリックします。[設定] メニューから [リソース管理] - [CLPR リソース移動] を選択します。
3. [利用可能なパーティグループ] テーブルまたは [利用可能な仮想ボリューム] テーブルから、移動するリソースのチェックボックスを選択します。
  4. [CLPRs] テーブルから、リソースの移動先 CLPR のラジオボタンを選択します。
  5. [セット] をクリックします。  
[利用可能なパーティグループ] テーブルまたは [利用可能な仮想ボリューム] テーブルで選択したリソースが、[CLPRs] テーブルの選択した CLPR に移動します。CLPR のラジオボタンを選択して [詳細] をクリックすると、[CLPR プロパティ] 画面が表示され、その CLPR の詳細を確認できます。
  6. [完了] をクリックします。
  7. [設定確認] 画面で設定内容を確認し、[タスク名] にタスク名を入力します。
  8. [適用] をクリックして設定をストレージシステムに適用します。設定した内容はタスクとしてキューイングされ、順に実行されます。



**ヒント** ウィザードを閉じたあとに [タスク] 画面を自動的に表示するには、ウィザードで [適用] をクリックした後にタスク画面を表示] を選択して、[適用] をクリックします。

9. [タスク] 画面で、操作結果を確認します。実行前であれば、[タスク] 画面でタスクを一時中断したり キャンセルしたりできます。

#### 関連項目

- ・ [A.4 CLPR リソース移動ウィザード](#)
- ・ [A.7 \[CLPR プロパティ\] 画面](#)
- ・ [2.2 Virtual Partition Manager 操作上の注意事項](#)

## 3.4 CLPR の設定を編集する

次の設定は、CLPR の作成後に変更できます。ただし、CLPR0 を編集対象とした場合、編集できるのは CLPR 名だけで、ほかの項目はすべて非活性になります。

- ・ CLPR 名
- ・ CLPR のキャッシュ容量

#### 前提条件

- ・ 必要なロール：ストレージ管理者（システムリソース管理）ロール

#### 操作手順

1. 次のどちらかの方法で、[キャッシュパーティション] 画面を表示します。  
Hitachi Command Suite を使用する場合：
  - [リソース] タブで [ストレージシステム] ツリーを展開します。ローカルストレージシステムの配下の [キャッシュパーティション] を選択します。Storage Navigator を使用する場合：
  - [管理] ツリーから [キャッシュパーティション] を選択します。

2. 次のどちらかの方法で、[CLPR 編集] 画面を表示します。
  - 編集したい CLPR のチェックボックスを 1 つ選択した上で [キャッシュパーティション] タブで [CLPR 編集] をクリックします。
  - 編集したい CLPR のチェックボックスを 1 つ選択した上で [設定] メニューから [リソース管理] - [CLPR 編集] を選択します。[CLPR ID] には、自動的に割り当てられる CLPR の番号が表示されます。
3. [CLPR 名] に、CLPR 名を入力します。
4. [キャッシュサイズ] で、CLPR のキャッシュ容量を選択します。
5. [完了] をクリックします。
6. [設定確認] 画面で設定内容を確認し、[タスク名] にタスク名を入力します。
7. [適用] をクリックして設定をストレージシステムに適用します。設定した内容はタスクとしてキューイングされ、順に実行されます。



**ヒント** ウィザードを閉じたあとに[タスク]画面を自動的に表示するには、ウィザードで[「適用」をクリックした後にタスク画面を表示]を選択して、[適用]をクリックします。

8. [タスク] 画面で、操作結果を確認します。実行前であれば、[タスク] 画面でタスクを一時中断したり キャンセルしたりできます。

#### 関連項目

- ・ [A.5 CLPR 編集ウィザード](#)
- ・ [2.2 Virtual Partition Manager 操作上の注意事項](#)

## 3.5 CLPR を削除する

CLPR を削除する手順を次に示します。ただし、下記の CLPR は削除できません。

- ・ CLPRO
- ・ パリティグループ、または仮想ボリュームが割り当てられた CLPR

#### 前提条件

- ・ 必要なロール：ストレージ管理者（システムリソース管理）ロール

#### 操作手順

1. 次のどちらかの方法で、[キャッシュパーティション] 画面を表示します。  
Hitachi Command Suite を使用する場合：
  - [リソース] タブで [ストレージシステム] ツリーを展開します。ローカルストレージシステムの配下の [キャッシュパーティション] を選択します。Storage Navigator を使用する場合：
  - [管理] ツリーから [キャッシュパーティション] を選択します。
2. 削除する CLPR のチェックボックスを選択します。
3. 次のどちらかの方法で、[CLPR 削除] 画面を表示します。
  - [キャッシュパーティション] タブの [他のタスク] - [CLPR 削除] をクリックします。
  - [設定] メニューから [リソース管理] - [CLPR 削除] を選択します。

4. [CLPR 削除] 画面で設定内容を確認し、[タスク名] にタスク名を入力します。
5. [適用] をクリックして設定をストレージシステムに適用します。設定した内容はタスクとしてキューイングされ、順に実行されます。



**ヒント** ウィザードを閉じたあとに[タスク]画面を自動的に表示するには、ウィザードで「[適用]をクリックした後にタスク画面を表示」を選択して、[適用] をクリックします。

---

6. [タスク] 画面で、操作結果を確認します。実行前であれば、[タスク] 画面でタスクを一時中断したり キャンセルしたりできます。

#### 関連項目

- ・ [A.8 \[CLPR 削除\] 画面](#)

# Virtual Partition Manager のトラブルシューティング

ここでは、トラブルシューティングについて説明します。

- [4.1 Virtual Partition Manager のエラーと対策](#)
- [4.2 お問い合わせ先](#)

## 4.1 Virtual Partition Manager のエラーと対策

エラー	対策
CLPR の名称 CLPR の名称を変更できない。	複数の CLPR に同じ名称を付けることはできません。 入力した CLPR 名はすでに使われているか、またはストレージシステムに予約されています。 別の名称を入力してください。 ストレージシステムに予約されている CLPR 名については、 <a href="#">2.2 節</a> を参照してください。
パリティグループ CLPR 内のパリティグループを、他の CLPR に移動できない。	CLPR 内のパリティグループを他の CLPR に移動できない場合は、次の作業を実行してください。 CLPR を新規に作成するときは、一度 [適用] をクリックしないとパリティグループを割り当てられません。今の状態のまま、[適用] をクリックしてからパリティグループを移動してください。

## 4.2 お問い合わせ先

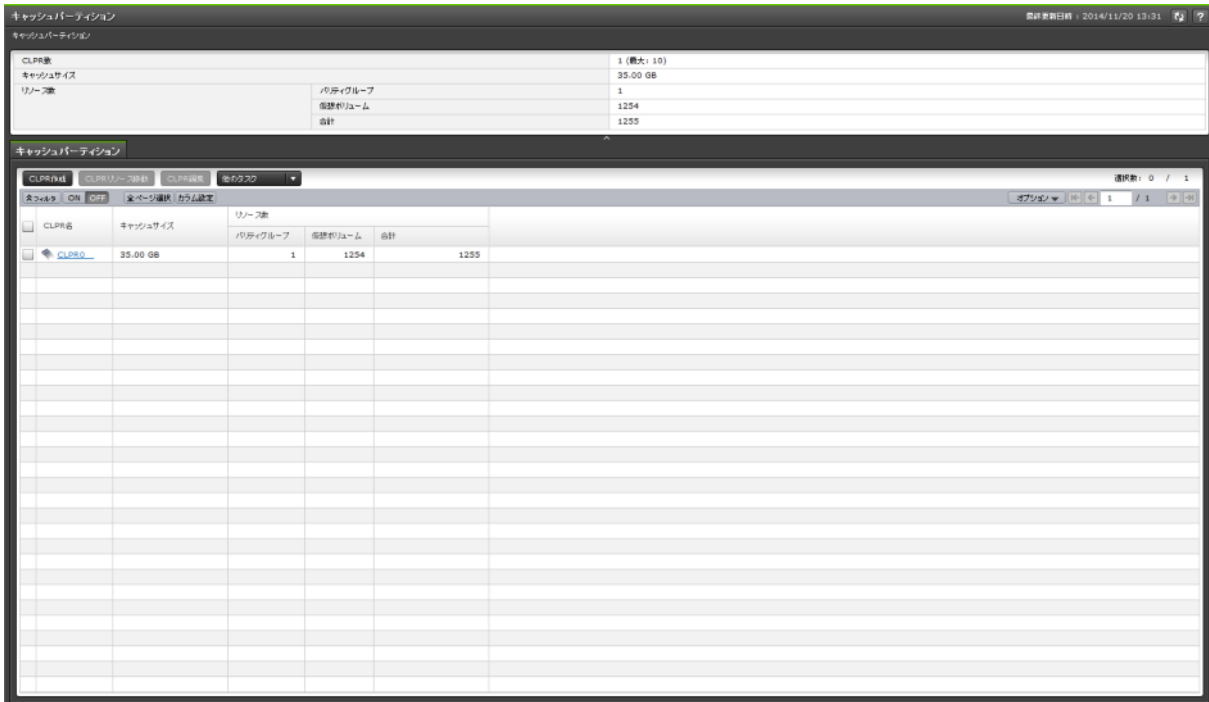
- ・ 保守契約をされているお客様は、以下の連絡先にお問い合わせください。  
日立サポートサービス：<http://www.hitachi-support.com/>
- ・ 保守契約をされていないお客様は、担当営業窓口にお問い合わせください。

# Virtual Partition Manager GUI リファレンス

ここでは、Virtual Partition Manager を操作するために必要な画面について説明します。

- [A.1 \[キャッシュパーティション\] 画面](#)
- [A.2 個別の CLPR 画面](#)
- [A.3 CLPR 作成ウィザード](#)
- [A.4 CLPR リソース移動ウィザード](#)
- [A.5 CLPR 編集ウィザード](#)
- [A.6 \[設定変更\] 画面](#)
- [A.7 \[CLPR プロパティ\] 画面](#)
- [A.8 \[CLPR 削除\] 画面](#)

## A.1 [キャッシュパーティション] 画面



[管理] で [キャッシュパーティション] を選択したときに表示される画面です。次のエリアから構成されています。

- ・ サマリ
- ・ [キャッシュパーティション] タブ

### サマリ

項目	説明
CLPR 数	ストレージシステムが保有する CLPR 数が表示されます。
キャッシュサイズ	ストレージシステムが保有するキャッシュの容量が表示されます。
リソース数	ストレージシステムが保有する、CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [パリティグループ]：パリティグループ数が表示されます。</li> <li>・ [仮想ボリューム]：仮想ボリューム数が表示されます。</li> <li>・ [合計]：CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。</li> </ul>

### [キャッシュパーティション] タブ

- ・ ボタン

項目	説明
CLPR 作成	[CLPR 作成] 画面が表示されます。
CLPR リソース移動	[CLPR リソース移動] 画面が表示されます。
CLPR 編集	[CLPR 編集] 画面が表示されます。
CLPR 削除※	[CLPR 削除] 画面が表示されます。
テーブル情報出力※	テーブル情報を出力させる画面が表示されます。



注※

[他のタスク] ボタンをクリックすると表示されます。

- ・ テーブル

項目	説明
CLPR 名	CLPR 名が表示されます。 リンクをクリックすると各 CLPR を選択したときの画面に移動します。
CLPR ID※	CLPR ID が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。
リソース数	CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ [パリティグループ]：パリティグループ数が表示されます。</li><li>・ [仮想ボリューム]：仮想ボリューム数が表示されます。</li><li>・ [合計]：CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。</li></ul>

注※

この項目は、初期状態では表示されません。項目を表示する場合は、[カラム設定] 画面で設定を変更してください。[カラム設定] 画面の詳細については、『Hitachi Device Manager - Storage Navigator ユーザガイド』を参照してください。

## A.2 個別の CLPR 画面

CLPR	0:CLPRO
キャッシュサイズ	16.00 GB
リソース数	パリティグループ: 17 仮想ボリューム: 0 合計: 17

パリティグループID	RAIDレベル	容量
E1-32	6(14D+2P)	51059.65 GB
E1-1	-	8.00 GB
E1-2	-	8.00 GB
E1-3	-	8.00 GB
E1-4	-	8.00 GB
E1-5	-	8.00 GB
E1-6	-	8.00 GB
E1-7	-	8.00 GB
E1-8	-	8.00 GB
E1-9	-	8.00 GB
E1-10	-	8.00 GB
E1-11	-	8.00 GB
E1-12	-	8.00 GB
E1-13	-	8.00 GB
E1-14	-	8.00 GB
E1-15	-	8.00 GB
E1-16	-	8.00 GB

[キャッシュパーティション] から各 CLPR を選択したときに表示される画面です。次のエリアから構成されています。

- ・ [サマリ](#)
- ・ [\[パリティグループ\] タブ](#)

- ・ [仮想ボリューム] タブ

## サマリ

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。
リソース数	CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [パリティグループ]：パリティグループ数が表示されます。</li> <li>・ [仮想ボリューム]：仮想ボリューム数が表示されます。</li> <li>・ [合計]：CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。</li> </ul>

## [パリティグループ] タブ

- ・ ボタン

項目	説明
CLPR リソース移動	[CLPR リソース移動] 画面が表示されます。
テーブル情報出力	テーブル情報を出力させる画面が表示されます。

- ・ テーブル

項目	説明
パリティグループ ID	パリティグループ ID が表示されます。 リンクをクリックすると各パリティグループを選択したときの画面に移動します。
RAID レベル	RAID レベルが表示されます。
容量	容量が表示されます。

## [仮想ボリューム] タブ

LDEV ID	LDEV名	RAIDレベル	容量	プロビジョニングステータス
00:00:14	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:15	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:16	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:17	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:18	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:19	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:1A	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:1B	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:1C	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:1D	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:1E	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:1F	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:20	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:21	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:22	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:23	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:24	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:25	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:26	Dpwox...	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:27	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:28	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:29	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:2A	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:2B	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:2C	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:2D	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:2E	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:2F	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:30	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:31	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP
00:00:32	DP	1(2D+2D)	10.00 GB	DP

- ・ ボタン

項目	説明
CLPR リソース移動	[CLPR リソース移動] 画面が表示されます。
テーブル情報出力	テーブル情報を出力させる画面が表示されます。

・ テーブル

項目	説明
LDEV ID	LDEV ID が表示されます。 リンクをクリックすると各 LDEV のプロパティ画面に移動します。
LDEV 名	LDEV 名が表示されます。
RAID レベル	RAID レベルが表示されます。
容量	容量が表示されます。
プロビジョニングタイプ	LDEV の種類が表示されます。
仮想ストレージマシン※	仮想ストレージマシンに関する情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [モデル/シリアル番号] : LDEV の、仮想ストレージマシンのモデルとシリアル番号が表示されます。</li> <li>・ [LDEV ID] : LDEV の仮想 LDEV ID が表示されます。仮想 LDEV ID が割り当ての場合、空白が表示されます。</li> <li>・ [デバイス名] : LDEV の仮想デバイス名が表示されます。仮想デバイス名は、仮想エミュレーションタイプ、仮想 LUSE ボリューム数および仮想 CVS 属性を組み合わせた形式で表示されます。 仮想エミュレーションタイプ、仮想 LUSE ボリューム数、および仮想 CVS 属性のうち、設定済みの項目だけが表示されます。仮想エミュレーションタイプ、仮想 LUSE ボリューム数および仮想 CVS 属性を設定していない場合は、空白が表示されます。仮想 CVS 属性を設定している場合は、[CVS] が末尾に追加されます。</li> <li>・ [SSID] : LDEV の仮想 SSID が表示されます。仮想 SSID が設定されていない場合は、空白が表示されます。</li> </ul>

注※

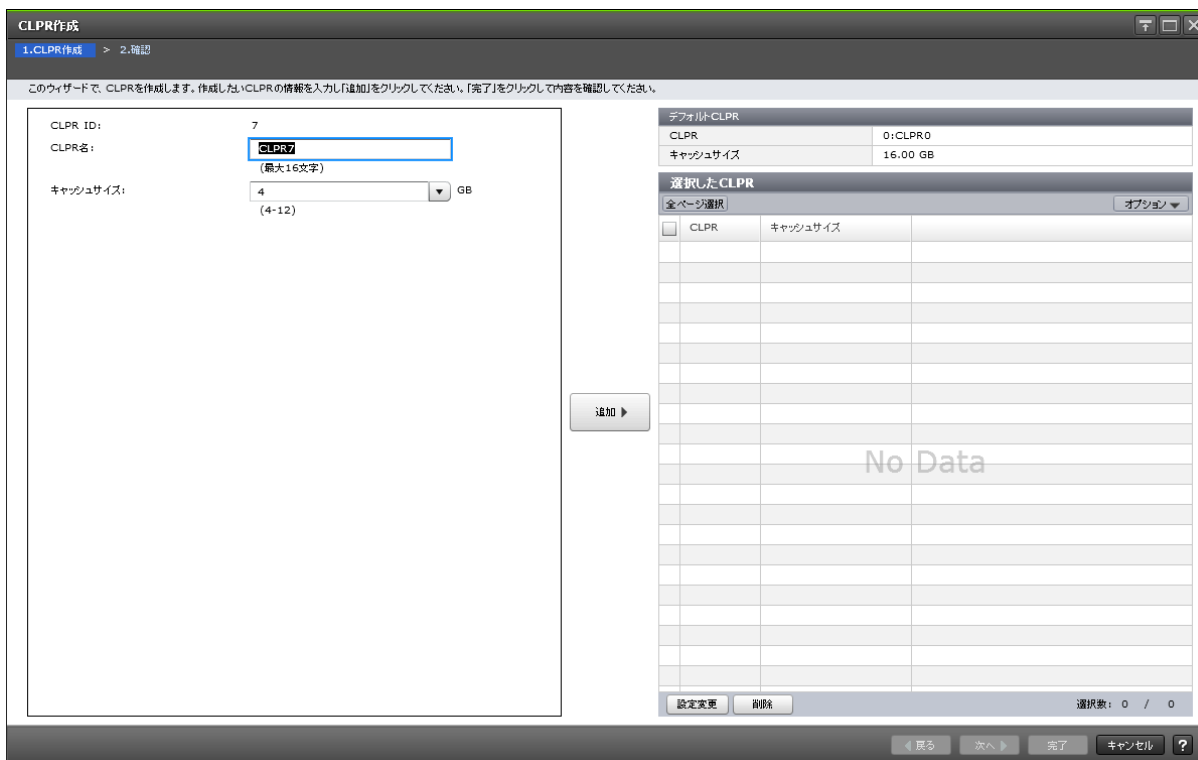
この項目は、初期状態では表示されません。項目を表示する場合は、[カラム設定] 画面で設定を変更してください。[カラム設定] 画面の詳細については、『Hitachi Device Manager - Storage Navigator ユーザガイド』を参照してください。

## A.3 CLPR 作成ウィザード

関連項目

- ・ [3.2 CLPR を作成する](#)

## A.3.1 [CLPR 作成] 画面



### 情報設定エリア

画面左側のエリアで、CLPR の作成を操作します。

項目	説明
CLPR ID	空いている CLPR ID のうち、最も小さい番号が表示されます。 設定できる CLPR ID が無い場合は、空白が表示されます。
CLPR 名	CLPR 名を入力します。 CLPR が設定できる最大数に達している場合は、空白が表示されます。 CLPR 名には、16 文字までの英数字が使用できます。ただし、ストレージシステムに予約されている CLPR 名に変更することはできません。詳細については、「2.2」を参照してください。
キャッシュサイズ	CLPR のキャッシュ容量を選択します。 CLPR が設定できる最大数に達している場合は、空白が表示されます。 CLPR のキャッシュ容量には、4 ギガバイト以上の値を選択できます。上限値については、使用可能最大容量（実装値から他の CLPR の総使用量を引いたもの）が表示されます。デフォルトは 4 ギガバイトで、2 ギガバイト単位で容量を増やすことができます。

### [追加] ボタン

画面左側のエリアで設定した CLPR を、「選択した CLPR」テーブルに追加します。

### [デフォルト CLPR] テーブル

CLPR ID 0 の情報が表示されます。

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。

項目	説明
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。 作成した CLPR に応じて、数値が変化します。

### [選択した CLPR] テーブル

画面右側のエリアで、作成する CLPR の情報が表示されます。

- ・ テーブル

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。

- ・ ボタン

項目	説明
設定変更	[設定変更] 画面が表示されます。
削除	選択した CLPR を、[選択した CLPR] テーブルから削除します。

## A.3.2 [設定確認] 画面

タスク名を入力してください。リストの設定を確認し、「適用」をクリックするとタスクがタスクキュー（実行待ちタスク）に追加されます。

タスク名:  (最大32文字)

デフォルト CLPR	
CLPR	キャッシュサイズ
0:CLPR0	8.00 GB

選択した CLPR	
CLPR	キャッシュサイズ
7:CLPR7	8.00 GB

合計: 1

「適用」をクリックした後にタスク画面を表示 戻る 次へ 適用 キャンセル ?

### [デフォルト CLPR] テーブル

CLPR ID 0 の情報を確認します。

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。

項目	説明
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。

### 【選択した CLPR】 テーブル

作成する CLPR の情報を確認します。

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。

## A.4 CLPR リソース移動ウィザード

### 関連項目

- 3.3 CLPR 内のリソースを移動する

### A.4.1 【CLPR リソース移動】 画面

このウィザードで、CLPRにリソースを割り当てます。各リストから割り当てたいパリティグループ、仮想ボリューム、CLPRを選択して、「セット」をクリックしてください。「完了」をクリックして内容を確認してください。

パリティグループID	CLPR	RAIDレベル	容量	リソースグループ名 (ID)
8-32	0:CLPR0	6(14D+2P)	51059.65 GB	meta_resource(0)
E1-1	0:CLPR0	-	8.00 GB	meta_resource(0)
E1-2	0:CLPR0	-	8.00 GB	meta_resource(0)
E1-3	0:CLPR0	-	8.00 GB	meta_resource(0)
E1-4	0:CLPR0	-	8.00 GB	meta_resource(0)
E1-5	0:CLPR0	-	8.00 GB	meta_resource(0)
E1-6	0:CLPR0	-	8.00 GB	meta_resource(0)
E1-7	0:CLPR0	-	8.00 GB	meta_resource(0)

LDEV ID	LDEV名	CLPR	RAIDレベル	容量	プロビジョ
No Data					

CLPR	キャッシュサイズ	リソース数	パリティグループ	仮想ボリューム	合計
0:CLPR0	16.00 GB	17	0	0	17
1:CLPR1	4.00 GB	0	0	0	0
2:CLPR2	4.00 GB	0	0	0	0
3:CLPR3	4.00 GB	0	0	0	0
4:CLPR4	4.00 GB	0	0	0	0
5:CLPR5	4.00 GB	0	0	0	0
6:CLPR6	4.00 GB	0	0	0	0
9:CLPR9	4.00 GB	0	0	0	0
10:CLPR10	4.00 GB	0	0	0	0
11:CLPR11	4.00 GB	0	0	0	0
12:CLPR12	4.00 GB	0	0	0	0
13:CLPR13	4.00 GB	0	0	0	0
14:CLPR14	4.00 GB	0	0	0	0
15:CLPR15	4.00 GB	0	0	0	0

### 【CLPR】

[利用可能なパリティグループ] テーブルと [利用可能な仮想ボリューム] テーブルをフィルタします。

デフォルトは「任意」です。

## [CU]

[利用可能な仮想ボリューム] テーブルをフィルタします。

デフォルトは「任意」です。

### [利用可能なパリティグループ] テーブル

項目	説明
パリティグループ ID	パリティグループ ID が表示されます。
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
RAID レベル	RAID レベルが表示されます。
容量	パリティグループの総容量が表示されます。
リソースグループ名 (ID)	パリティグループのリソースグループの名称と ID が表示されます。ID は括弧内に表示されます。

### [利用可能な仮想ボリューム] テーブル

項目	説明
LDEV ID	LDEV ID が表示されます。
LDEV 名	LDEV 名が表示されます。
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
RAID レベル	RAID レベルが表示されます。
容量	容量が表示されます。
プロビジョニングタイプ	LDEV の種類が表示されます。
リソースグループ名 (ID)	LDEV のリソースグループの名称と ID が表示されます。ID は括弧内に表示されます。

## [セット] ボタン

画面左側のエリアで選択したリソースを、[CLPRs] テーブルで選択した CLPR に割り当てます。

### [CLPRs] テーブル

画面右側のエリアで、CLPR に割り当てるリソースの情報が表示されます。

- ・ テーブル

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの総容量が表示されます。
リソース数	CLPR に割り当てるリソース数が表示されます。 割り当てるリソースに応じて、数値が変化します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ [パリティグループ]: パリティグループ数が表示されます。</li><li>・ [仮想ボリューム]: 仮想ボリューム数が表示されます。</li><li>・ [合計]: CLPR に割り当てるリソース数が表示されます。</li></ul>

- ・ ボタン

項目	説明
詳細	[CLPR プロパティ] 画面が表示されます。

## A.4.2 [設定確認] 画面

タスク名を入力してください。リソースの設定を確認し、「適用」をクリックするとタスクがタスクキュー(実行待ちタスク)に追加されます。

タスク名:  (最大32文字)

CLPR	キャッシュサイズ	リソース数			合計
		パリティグループ	仮想ボリューム		
0:CLPR0	16.00 GB	17	0	17	
1:CLPR1	4.00 GB	0	0	0	
2:CLPR2	4.00 GB	0	0	0	
3:CLPR3	4.00 GB	0	0	0	
4:CLPR4	4.00 GB	0	0	0	
5:CLPR5	4.00 GB	0	0	0	
6:CLPR6	4.00 GB	0	0	0	
9:CLPR9	4.00 GB	0	0	0	
10:CLPR10	4.00 GB	0	0	0	
11:CLPR11	4.00 GB	0	0	0	
12:CLPR12	4.00 GB	0	0	0	
13:CLPR13	4.00 GB	0	0	0	
14:CLPR14	4.00 GB	0	0	0	
15:CLPR15	4.00 GB	0	0	0	

合計: 14

### [CLPRs] テーブル

CLPR に割り当てるリソースの情報を確認します。

- ・ テーブル

項目	説明
CLPR	CLPR IDおよびCLPR名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの総容量が表示されます。
リソース数	CLPR に割り当てるリソース数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [パリティグループ]: パリティグループ数が表示されます。</li> <li>・ [仮想ボリューム]: 仮想ボリューム数が表示されます。</li> <li>・ [合計]: CLPR に割り当てるリソース数が表示されます。</li> </ul>

- ・ ボタン

項目	説明
詳細	[CLPR プロパティ] 画面が表示されます。



## A.5 CLPR 編集ウィザード

### 関連項目

- ・ 3.4 CLPR の設定を編集する

### A.5.1 [CLPR 編集] 画面

CLPR編集

1. CLPR編集 > 2. 確認

このウィザードで、プロパティを変更できます。変更したいプロパティのチェックボックスをチェックし、新しい値を入力してください。

CLPR ID: 0

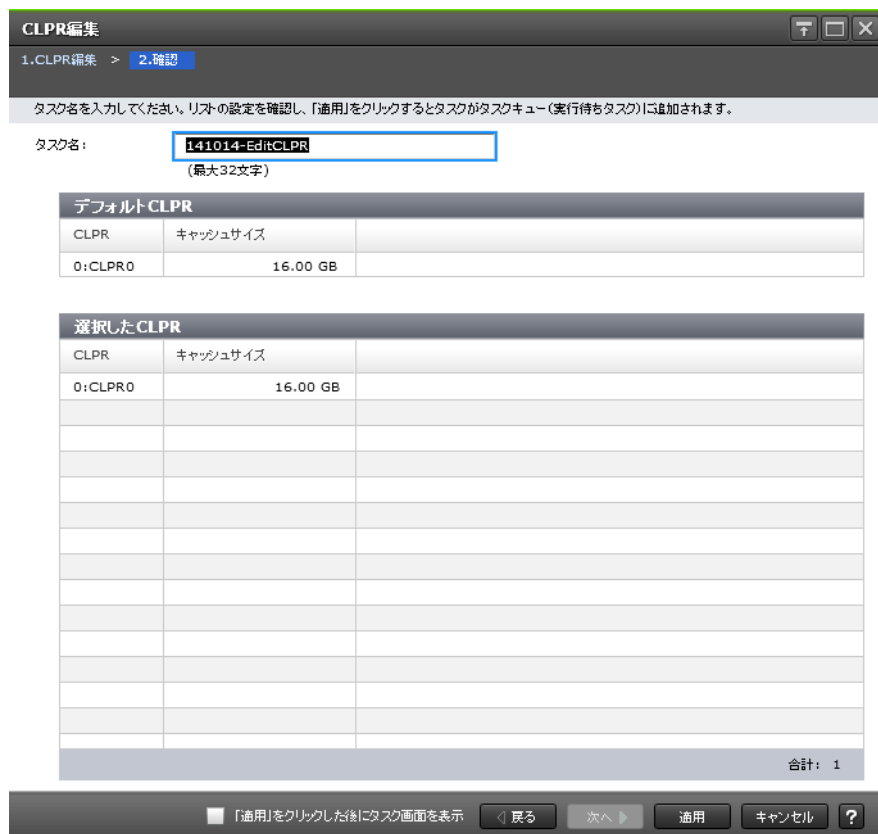
CLPR名: CLPR0  
(最大16文字)

キャッシュサイズ: (-) GB

戻る 次へ 完了 キャンセル ?

### 情報設定エリア

項目	説明
CLPR ID	CLPR ID が表示されます。
CLPR 名	CLPR 名を入力します。 デフォルトでは、CLPR ID が表示されます。 CLPR 名には、16 文字までの英数字が使用できます。ただし、ストレージシステムに予約されている CLPR 名に変更することはできません。詳細については、2.2 を参照してください。
キャッシュサイズ	CLPR のキャッシュ容量を選択します。CLPR0 を編集対象とした場合は、非活性になります。 CLPR のキャッシュ容量には、4 ギガバイト以上の値を選択できます。上限値については、使用可能最大容量（実装値から他の CLPR の総使用量を引いたもの）が表示されます。デフォルトは CLPR を作成したときに設定した値で、2 ギガバイト単位で容量を増やすことができます。



### [デフォルト CLPR] テーブル

CLPR ID 0 の情報を確認します。

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。

### [選択した CLPR] テーブル

編集する CLPR の情報を確認します。

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。

## A.6 [設定変更] 画面

設定変更

CLPR名を入力して[OK]をクリックしてください。

CLPR名:      固定文字      開始番号

CLPR2     

(全体で9桁数字を含む最大16文字)

OK      キャンセル      ?

### 情報設定エリア

項目	説明
CLPR 名	CLPR 名を入力します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ [固定文字]: 16 文字までの英数字が使用できます。デフォルトは CLPR を作成したときに設定した名称です。ただし、ストレージシステムに予約されている CLPR 名に変更することはできません。詳細については、<a href="#">2.2</a> を参照してください。</li><li>・ [開始番号]: 0 から 9 までの数字が使用できます。デフォルトは空白です。使用できる文字数は 9 文字までです。ただし、[固定文字] と [開始番号] を合わせて、使用できる文字数は 16 文字までです。</li></ul>

### 関連項目

- ・ [3.2 CLPR を作成する](#)

## A.7 [CLPR プロパティ] 画面

CLPRプロパティ

CLPR		0:CLPRO
キャッシュサイズ		16.00 GB
リソース数	パリティグループ	17
	仮想ボリューム	0
	合計	17

パリティグループ

パリティグループID	移動済み	RAIDレベル	容量
8-32	非該当	6(14D+2P)	51059.65 GB
E1-1	非該当	-	8.00 GB
E1-2	非該当	-	8.00 GB
E1-3	非該当	-	8.00 GB
E1-4	非該当	-	8.00 GB
E1-5	非該当	-	8.00 GB
E1-6	非該当	-	8.00 GB
E1-7	非該当	-	8.00 GB
E1-8	非該当	-	8.00 GB

合計: 17

仮想ボリューム

LDEV ID	LDEV名	移動済み	RAIDレベル	容量	プロビジョニングタイプ
No Data					

合計: 0

閉じる ?

### [CLPR プロパティ] テーブル

項目	説明
CLPR	CLPR IDおよびCLPR名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。
リソース数	CLPRに割り当て済みのリソース数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [パリティグループ]: パリティグループ数が表示されます。</li> <li>・ [仮想ボリューム]: 仮想ボリューム数が表示されます。</li> <li>・ [合計]: CLPRに割り当て済みのリソース数が表示されます。</li> </ul>

### [パリティグループ] テーブル

項目	説明
パリティグループID	パリティグループIDが表示されます。
移動済み	CLPR割り当てによる変更の有無が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [該当]: 割り当てによる変更があります。</li> <li>・ [非該当]: 割り当てによる変更がありません。</li> </ul>
RAIDレベル	RAIDレベルが表示されます。
容量	容量が表示されます。



項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。
リソース数	CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [パリティグループ]：パリティグループ数が表示されます。</li> <li>・ [仮想ボリューム]：仮想ボリューム数が表示されます。</li> <li>・ [合計]：CLPR に割り当て済みのリソース数が表示されます。</li> </ul>

### 【選択した CLPR】 テーブル

削除する CLPR の情報を確認します。

項目	説明
CLPR	CLPR ID および CLPR 名が表示されます。
キャッシュサイズ	キャッシュの容量が表示されます。

### 関連項目

- ・ [3.5 CLPR を削除する](#)

## このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

- [B.1 操作対象リソースについて](#)
- [B.2 このマニュアルでの表記](#)
- [B.3 このマニュアルで使用している略語](#)
- [B.4 KB \(キロバイト\) などの単位表記について](#)
- [B.5 Encryption License Key を使用したデータ暗号化について](#)

## B.1 操作対象リソースについて

Storage Navigator のメイン画面には、ログインしているユーザ自身に割り当てられているリソースだけが表示されます。ただし、割り当てられているリソースの管理に必要なとされる関連のリソースも表示される場合があります。

また、このマニュアルで説明している機能を使用するときには、各操作対象のリソースが特定の条件を満たしている必要があります。

各操作対象のリソースの条件については『システム構築ガイド』を参照してください。

## B.2 このマニュアルでの表記

このマニュアルで使用している表記を次の表に示します。

表記	製品名
DP	Dynamic Provisioning
Storage Navigator	Hitachi Device Manager - Storage Navigator
Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800	次の製品を区別する必要がない場合の表記です。 <ul style="list-style-type: none"><li>Virtual Storage Platform G100</li><li>Virtual Storage Platform G200</li><li>Virtual Storage Platform G400</li><li>Virtual Storage Platform G600</li><li>Virtual Storage Platform G800</li></ul>
VSP	Hitachi Virtual Storage Platform
VSP G100	Virtual Storage Platform G100
VSP G200	Virtual Storage Platform G200
VSP G400	Virtual Storage Platform G400
VSP G600	Virtual Storage Platform G600
VSP G800	Virtual Storage Platform G800
VSP G100, G200, G400, G600, G800	Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800

## B.3 このマニュアルで使用している略語

このマニュアルで使用している略語を次の表に示します。

略語	フルスペル
CLPR	Cache Logical Partition
CU	Control Unit
GUI	Graphical User Interface
I/O	Input/Output
ID	IDentifier
LDEV	Logical DEvice
LDKC	Logical DKC



略語	フルスペル
OS	Operating System

## B.4 KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）は1,024バイト、1MB（メガバイト）は1,024KB、1GB（ギガバイト）は1,024MB、1TB（テラバイト）は1,024GB、1PB（ペタバイト）は1,024TBです。

1block（ブロック）は512バイトです。1Cyl（シリンダ）をKBに換算した値は、960KBです。

## B.5 Encryption License Key を使用したデータ暗号化について

Virtual Storage Platform G100 およびVirtual Storage Platform G200 では、Encryption License Key を使用したデータ暗号化はできません。





# 用語解説

用語の詳細を説明します。

## C

### CLPR

(Cache Logical Partition)

キャッシュメモリを論理的に分割すると作成されるパーティション（区画）です。

### CU

(Control Unit (コントロールユニット))

主に磁気ディスク制御装置を指します。

## D

### DKC

(Disk Controller)

ストレージシステムを制御するコントローラが備わっているシャーシ（筐体）です。

## L

### LDEV

(Logical Device (論理デバイス))

RAID 技術では冗長性を高めるため、複数のドライブに分散してデータを保存します。この複数のドライブにまたがったデータ保存領域を論理デバイスまたは LDEV と呼びます。ストレージ内の LDEV は、LDKC 番号、CU 番号、LDEV 番号の組み合わせで区別します。LDEV に任意の名前を付けることもできます。

このマニュアルでは、LDEV（論理デバイス）を論理ボリュームまたはボリュームと呼ぶことがあります。

### LDEV 名

LDEV 作成時に、LDEV に付けるニックネームです。あとから LDEV 名の変更もできます。

### LUSE ボリューム

オープンシステム用のボリュームが複数連結して構成されている、1つの大きな拡張ボリュームのことです。ボリュームを拡張することで、ポート当たりのボリューム数が制限されているホストからもアクセスできるようになります。

## M

### MP ユニット

データ入出力を処理するプロセッサを含んだユニットです。データ入出力に関連するリソース（LDEV、外部ボリューム、ジャーナル）ごとに特定の MP ユニートを割り当てると、性能をチューニングできます。特定の MP ユニートを割り当てる方法と、ストレージシステムが自動的に選択した MP ユニートを割り当てる方法があります。MP ユニットに対して自動割り当ての設定を無効にすると、その MP ユニットがストレージシステムによって自動的にリソースに割り当てられることはないため、特定のリソース専用の MP ユニットとして使用できます。

## R

### RAID

(Redundant Array of Independent Disks)  
独立したディスクを冗長的に配列して管理する技術です。

### RAID Manager

コマンドインタフェースでストレージシステムを操作するためのプログラムです。

## か

### 外部ボリューム

Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800 のボリュームとしてマッピングされた、外部ストレージシステム内のボリュームです。

### 書き込み待ち率

ストレージシステムの性能を測る指標の 1 つです。キャッシュメモリに占める書き込み待ちデータの割合を示します。

### 仮想ボリューム

実体を持たない、仮想的なボリュームです。Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、または active flash で使用する仮想ボリュームを DP-VOL と呼びます。Thin Image では、仮想ボリュームをセカンダリボリュームとして使用します。

## き

### キャッシュ

チャネルとドライブの間にあるメモリです。中間バッファとしての役割があります。キャッシュメモリとも呼ばれます。

## し

### ジャーナルボリューム

Universal Replicator の用語で、プライマリボリュームからセカンダリボリュームにコピーするデータを一時的に格納しておくためのボリュームのことです。ジャーナルボリュームには、プライマリボリュームと関連づけられているマスタジャーナルボリューム、およびセカンダリボリュームと関連づけられているリストアジャーナルボリュームとがあります。

### シリアル番号

ストレージシステムに一意に付けられたシリアル番号（装置製番）です。

## な

### 内部ボリューム

Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800 が管理するボリュームを指します。

## は

### パリティグループ

同じ容量を持ち、1つのデータグループとして扱われる一連のドライブを指します。パリティグループには、ユーザデータとパリティ情報の両方が格納されているため、そのグループ内の1つまたは複数のドライブが利用できない場合にも、ユーザデータにはアクセスできます。

場合によっては、パリティグループを RAID グループ、ECC グループ、またはディスクアレイグループと呼ぶことがあります。

## ふ

### 分散パリティグループ

複数のパリティグループを連結させた集合体です。分散パリティグループを利用すると、ボリュームが複数のドライブにわたるようになるので、データのアクセス（特にシーケンシャルアクセス）にかかる時間が短縮されます。

## ま

### マッピング

Virtual Storage Platform G100, G200, G400, G600, G800 から外部ボリュームを操作するために必要な管理番号を、外部ボリュームに割り当てることです。

## め

### メイン画面

Storage Navigator にログイン後、最初に表示される画面です。

## り

### リソースグループ

ストレージシステムのリソースを割り当てたグループを指します。リソースグループに割り当てられるリソースは、LDEV 番号、パリティグループ、外部ボリューム、ポートおよびホストグループ番号です。

## ろ

### ローカルストレージシステム

管理クライアントを接続しているストレージシステムを指します。





# 索引

## C

- CLPR 10
  - 削除 19
  - 作成 16
  - 編集 18
  - リソース移動 17
- CLPR ID 14
- CLPR名 14

## V

- Virtual Partition Manager
  - 操作 16

## か

- 概要 9

## き

- キャッシュ分割機能 10

## す

- 推奨キャッシュ容量 12

## と

- トラブルシューティング 21

## は

- パリティグループ 10

